

古典紹介・解説

雁塔聖教序⑤

出村 太幹

今月号で後期検定試験の課題が発表になりました。そこで今回は、検定に向けての対策を考えてみましょう。

○正確に原本を捉えているかが問われます。用筆法、造形処理ともに精密な臨書を心がけましょう

○行間、字間を統一しましょう。間合いが乱れると全体感が損なわれてしまいます。目線の高さに張って確認を。

○落款は非常に大切です。本文を生かすも殺すも落款次第といっても過言ではありません。崩しが正確か、大きさ、太さが調和しているか再確認を。

昇段昇級目指して頑張りましょう！

書譜⑤

本間 太洲

秋の検定課題が発表になりました。何事もメリハリは重要ですので、ギアを一段上げて取り組んでみましょう。

さて、検定は展覧会ではありませんので、字形の正確さが第一です。その上で条幅作に求められる文字の大小、墨量の変化と気脈の貫通が重要になってきます。これらの要素をバランスよく表現できると好結果が期待できるはずです。

時間を有効に使うため、揮毫と鑑賞を繰り返して、全体感を確認しながら、修正箇所を毎回意識するようにしましょう。最後に、落款は作品の一部です。しっかり練習してください。